

第1回 障がい者地域医療ネットワークをご存知ですか？

社会局 局長 山川智之
社会局担当理事 羽田晋也
福利厚生部部长 坂口史紘

会員の皆様はこれまでにこのような経験はないでしょうか？

障がい者が何らかの理由で、新たに医療サービスを受けようとした場合のことで。

- ・もともと持つ障がいの影響し、医療機関での診療を円滑に受けることが出来なかった。
- ・転居などの理由で紹介先の情報を求められたが情報が少なく難渋した。
- ・脊髄損傷や脳性まひなどの障がいを持つ方に十分な対応が出来なかった。
- ・年齢により今まで受けていたリハビリテーションを同じ施設で受けることが出来なくなったが、新しく理学療法を受けることのできる施設が見つからない。

このようなことは実際の医療現場では起こりうると思います。

「障がい者医療・高次脳機能障がい協力医療機関等実態調査事業」実施までの経緯

大阪府では障害者基本法に基づき、長期的な視野から障がい者施策全般に関する基本的な方向性等を示す計画を作ることでさらなる施策の充実を図っています。

現在は平成24年度からの10年間で第4次大阪府障がい者計画とし、10年後の目指すべき姿として、「医療を必要とするすべての障がい者が、生涯継続して、いつでも必要な医療サービスを過度な負担なく受けることが出来るようにすることが必要であり、また身体機能に障がいが生じたときに早期の社会復帰が可能となるようにする必要がある。」としています。第4次大阪府障がい者計画を以下に紹介します。

(1) 必要な健康・医療サービスを受ける

① 医療サービスの充実

- 障がい種別に対する医療機関や医療スタッフの理解を深めるための研修を強化。
- 医療機関の確保、早期医療の推進、援助の充実。(発達障がい、精神疾患、難病など)

② 医療的ケアを必要とする重症心身障がい児(者)への支援の強化

- 在宅で保健・医療等のサービスを受けられるよう、二次医療圏域ごとにサービス提供体制を整備。
- 施設がない地域において、地域生活支援の拠点ともなる施設の整備について検討。

③ 二次障がいの予防

- 二次障がいや合併症等に対応できる医療機関の充実。(脳性まひ、脊髄損傷など)

(2) (医学・社会的) リハビリテーションを受ける

- 大阪府障がい者医療・リハビリテーションセンターの医療部門と福祉部門の連携強化や市町村との連携による地域ネットワークづくりの推進。
- 高次脳機能障がいの地域支援ネットワークを充実。

(第4次障がい者計画概要版より抜粋し一部改変)

大阪府の取り組みとして、平成14年に大阪府衛生対策審議会答申にて障がい者医療が定義され、この答申を受け、障がい者が身近な地域で安心して医療が受けられるよう以下のネットワークが作成されました。

平成 16 年度

- ① 脊髄損傷ネットワーク
- ② 脳性麻痺・筋疾患（小児神経・外科領域）ネットワーク
- ③ 脳性麻痺（整形外科・リハビリテーション科領域）ネットワーク



平成 18 年度

高次脳機能障がい地域支援ネットワーク

これらのネットワークを通して、専門協力医療機関と地域の協力機関が相互の連携を図り、障がい者医療の充実に取り組んでいます。

今後、ネットワークに参画する支援機関を拡大させ、府内のネットワーク機能をより充実させるため、ネットワーク参画機関、非参画機関を対象に実施された実態調査が「障がい者医療・高次脳機能障がい協力医療機関等実態調査事業」調査報告書及び施策提言書となります。

「障がい者医療・高次脳機能障がい協力医療機関等実態調査事業」から見てきたこと

この調査結果として「知らない」との回答が大半を占める結果となりました。

「障がい者地域医療ネットワークを知っているか。」に対して 67.1%

「ネットワークに大阪府理学療法士会が協力していることは知っているか。」に対して 77.2%

また、この調査結果から下記の課題が見つかりました。

- ① 障がい者が参画機関に問い合わせをしても診療してもらえない
- ② ネットワークがどのように活用されているか把握できていない

理学療法士の治療対象は機能障害やそれが引き起こす能力障害や社会的不利であることに加えて、障がいの有無や種類には影響されるものではなく、患者や利用者がもともと持つ障がいも含めて理学療法を行うことが必要となります。もともと持つ障がいを理由に新たに発生した疾病を治療する機会が損なわれてしまうことは我々理学療法士にとっては不本意なことではないでしょうか。

この「障がい者医療・高次脳機能障がい協力医療機関等実態調査事業」調査報告書及び施策提言書ではこのネットワークの現状と課題が表されました。そこには理学療法士を含むそれぞれの施設の医療従事者次第では改善可能な事柄も少なくありません。

今後、6回のシリーズで「障がい者地域医療ネットワーク」の理解を深め、皆様と共に協力できる機会を増やしていければと考えています。

「障がい者医療・高次脳機能障がい協力医療機関等実態調査事業」調査報告書及び施策提言書
<http://www.pref.osaka.jp/attach/6430/00104191/houkoku.pdf>

